

別記様式第1-2

工 事 成 績 評 定 表

〇〇年〇月〇〇日作成  
〇〇〇〇〇〇(部署名を記入)

工事名		契約金額(最終)																																					
請負者名		工 期												~												完成年月日													
考 査 項 目		①主任監督員						②総括監督員						③検査員(随時検査1)						③検査員(随時検査2)						④検査員(完成検査)													
		氏名						氏名						氏名						氏名						氏名													
項目	細別	a	b	c	d	e	評価	a	a'	b	b'	c	d	e	評価	a	a'	b	b'	c	d	e	評価	a	a'	b	b'	c	d	e	評価	a	a'	b	b'	c	d	e	評価
1. 施工体制	I 施工体制一般	+1.0	+0.5	0	-5	-10																																	
	II 配置技術者	+3.0	+1.5	0	-5	-10																																	
2. 施工状況	I 施工管理	+4.0	+2.0	0	-5	-10										+5	-	+2.5	-	0	-7.5	-15		+5	-	+2.5	-	0	-7.5	-15		+5	-	+2.5	-	0	-7.5	-15	
	II 工程管理	+4.0	+2.0	0	-5	-10		+2.0	-	+1.0	-	0	-7.5	-15																									
	III 安全対策	+5.0	+2.5	0	-5	-10		+3.0	-	+1.5	-	0	-7.5	-15																									
	IV 対外関係	+2.0	+1.0	0	-2.5	-5																																	
3. 出来形及び出来ばえ	I 出来形	+4.0	+2.0	0	-2.5	-5										+10	+7.5	+5	+2.5	0	-10	-20		+10	+7.5	+5	+2.5	0	-10	-20		+10	+7.5	+5	+2.5	0	-10	-20	
	II 品質	+5.0	+2.5	0	-2.5	-5										+15	+12	+7.5	+4.0	0	-12.5	-25		+15	+12	+7.5	+4.0	0	-12.5	-25		+15	+12	+7.5	+4.0	0	-12.5	-25	
	III 出来ばえ															+5	-	+2.5	-	0	-5	-		+5	-	+2.5	-	0	-5	-		+5	-	+2.5	-	0	-5	-	
4. 工事特性	I 施工条件等への対応(※2)	0						0																															
5. 創意工夫	I 創意工夫(※3)	0																																					
6. 社会性等	I 地域へ貢献等(※4)							+10	+7.5	+5	+2.5	0	-	-																									
加減点合計(1+2+3+4+5+6)		点						点						点						点																			
評 定 点 (※1)		① 点						② 点						③ 点						④ 点																			
7. 評定点計(※5)		#### 点																																					
		※ 随時検査があった場合 (①+②+③×0.5+④×0.5) = 細目別評定点(随時検査が2回以上の場合は③を平均する。 ※ 随時検査がなかった場合 (①+②+④) = 細目別評定点																																					
8. 法令遵守等(※6)								点 法令遵守等の該当事由																															
9. 評 定 点 合 計 (※7)		####																																					
所 見 (※8)		総括監督員																																					
		主任監督員																																					
		検査員																																					

- ※1 65点+加減点合計(1+2+3+4+5+6)とする。  
各評定点(①~④)は小数第1位まで記入する。
- ※2 工事特性は、当該工事特有の難度の高い条件(構造物の特殊性、特殊な技術、都市部等の作業環境・社会条件、厳しい自然・地盤条件、長期工事における安全確保等)に対して適切に対応したことを評価する項目である。  
評価に際しては、主任監督員からの報告を受けて総括監督員が評価するものとする。
- ※3 創意工夫は、工事特性のような難度を伴わない工事において、企業の工夫やノウハウにより特筆すべき便益があった場合に評価する項目である。
- ※4 社会性等の評価では地域への貢献等の観点から、加減点のみとする。
- ※5 随時検査があった場合：(① 点×0.4+② 点×0.2+③ 点×0.2+④ 点×0.2) = 点 ※ただし、③随時検査が2回以上の場合は平均値
- ※6 法令遵守等は減点評価のみとし、評価は総括監督員又は検査員が完成検査時に行う。
- ※7 評定点合計は、四捨五入により整数とする。
- ※8 所見欄には評定結果の概要を記載する。
- ※9 各検査項目ごとの採点は、検査項目別運用表によるものとする。

(この様式の形式は参考とし、内容は各機関の実状に合わせて変更しても良いものとする。ただし、検査項目、a~e評価及び各配点、①~③の配点比率は必須事項とする。  
なお、監督員を1名しか任命できない場合は、1名で総括監督員及び主任監督員の評定を行うものとする。)  
(原則として、総括監督員は主に総括的なプロセス評価を行える者、主任監督員は詳細なプロセス評価を行える者、検査員は検査職員として評価を行える者を充てるものとする。)